

第52回 「『水』と『芸術文化』でまちづくりと人づくり」

地域づくり活動のノウハウを地域のリーダーに直接伺い、お届けする「地域づくりキーパーソンに聞く」コーナー。

今回は、愛媛県西条市で活躍している「NPO 法人うちぬき21プロジェクト」（以下：うちぬき21P）の取り組みを紹介します。

うちぬき21Pでは、市民が誇れる「水と芸術文化のまちづくり」をテーマに「西条のうちぬき保全と環境美化」、「芸術文化の創造と環境づくり」、「市民が誇れる水景観づくり」の3つの基本方針をもとに、地域資源を活かしたイベント活動を通じて、地域の魅力向上に取り組まれています。うちぬき21Pの中心的存在として活躍されているメンバーの崎山さん、一色さんにお話を伺いました。

【平成23年度「手づくり郷土賞」（一般部門）受賞】



(後列左から1人目) 「うちぬき21プロジェクト」環境課長 崎山 智蔵さん
(後列左から3人目) 「うちぬき21プロジェクト」副理事長 一色 学さん

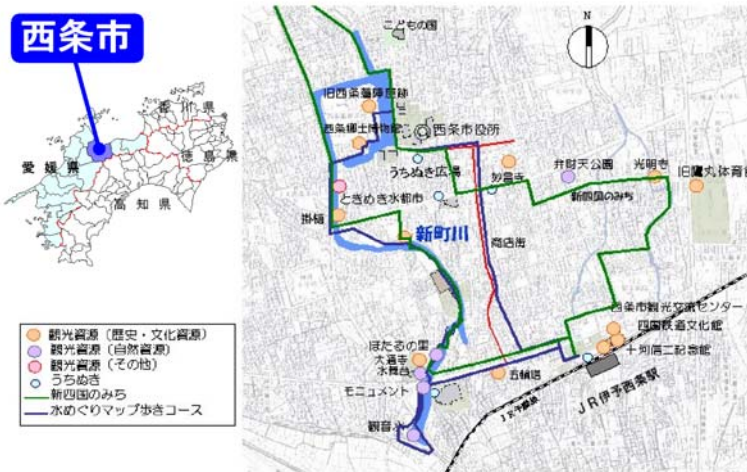
【霊峰石鎚山と豊かな水資源「うちぬき」と呼ばれる自噴水】

愛媛県西条市は、西日本最高峰石鎚山（1982m）の麓に位置し、全国的にもまれな被圧地下水の自噴地帯が広範囲にわたり形成されています。そのため、市内の各所でこんこんと湧き出る「うちぬき」と呼ばれる自噴水（地下水）がみられ、多くの農水産物を育てています。こうした豊かな水資源に恵まれた環境を背景に、「うちぬき」は、国の名水百選や利き水大会で2年連続日本一に選出されました。

また、市内の中心部を流れている新町川水系には、水の都を象徴するような市民が誇れる快適な親水空間が創出されています。さらには、瀬戸内海に面している沿岸地域に工場製品出荷額四国第2位(平成22年)を誇る工業地帯が広がっており、第1次産業から第3次産業までのバランスがとれています。毎年10月に催される豪華絢爛西条祭りの時期は、まちが祭り一色に染まるそうです。



◆西条市のシンボル石鎚山 紅葉の天狗岳（左）と『うちぬき』と呼ばれる自噴水（右）



◆市民が誇れる快適な親水空間 『アクアトピア水系』

【いよ西条の「うちぬき」をもっと知ってもらいたい】

うちぬき21プロジェクトの活動は、西条市の地域資源である「うちぬき」から生まれるまちの魅力を多くの方に知ってもらいたいという思いから始まりました。活動当初は、西条市にゆかりのある文化人の方々のご協力を得て、青石つくばい（※）の制作や石彫の公開制作に取り組みました。この活動が、西条市の誇る水と青石のすばらしさを市内の方々に知っていただくきっかけとなり、文化的交流によって市民の芸術文化への意識が高まってきました。また、製作した青石つくばいを、市内数箇所に整備された水景観

（※）茶室に入るために手を清めるための手水鉢。日本庭園の添景物の一つで露地（茶庭）に設置される。

スポットにアクセントとして設置することで多くの見る人、訪ねる人々にやすらぎを提供してきました。活動当初は社会的認知度も低く、まだまだ一部の私的な活動と捉えられがちでしたが、平成15年に特定非営利活動法人を設立し、より多くの市民の方々にご理解とご協力をいただきながら、「水」と「芸術文化」によるまちづくりの活動に取り組んでいます。

【地域づくり活動に興味をもって積極的に参加する】

一色さんは活動当初を振り返って「まちの魅力向上にと、青石つくばいを21基制作しましたが、設置場所探しが大変でした。水辺の散策ルートを設定し、ルート沿いの店舗やお寺にお願いして軒先等に設置させていただくことから始まりました。」と当時の苦労話をお話してくださいました。

うちぬき21Pのメンバー全員が、「水と芸術文化」をテーマにした様々なイベント活動に興味をもって積極的に参加されており、崎山さんもそのなかの一人です。テーマに沿った「うちぬき美術館の造営」、「水辺のコンサート」、「水に関する研究交流事業」、「いのちの森づくり」、「親子石彫教室」など数多くのイベントを通じ、多くの市民に感動と喜びを与える活動を続けておられます。

平成16年には、市内のうちぬき水の景観と芸術文化の香りを味わいながらまちづくりを考えるきっかけにしてみようとうと、親水空間や文化財を歩いて巡る「うちぬきウォークラリー」を開催し、毎年多くの参加者で賑わいをみせています。また、絵画、写真、音楽といったアートにふれあいながら地域の食材を生かした食を楽しむ「アートフェスティバル」を平成19年から開催するなど幅広い活動が展開されています。

ほかにも、活動を通じて築き上げた絆により「アクアトピア水系」の清掃や「88クリーンウォーク四国」などのボランティア活動にも積極的に参加し、住民からも多くの感謝の言葉が寄せられています。また、次世代の声を反映させるワークショップ等に参加するなど活動の場を拡げています。



◆イベント（左）「うちぬきウォークラリー」、（右）「アートフェスティバル」



◆公開石彫制作の作品「水のぬくもり」

◆アクアトピア水系の清掃活動

【こんな取り組みもしています】

イベント活動だけでなく、行政への提言や新たな地域資源の発掘などを通じて、魅力、活力あるまちづくりのための取組も進めています。水問題の取り組みとして、西条市黒瀬ダムの分水問題が浮上した際には、率先して市民へのアンケート調査、委員会・市民の会の発足、公開シンポジウムを自主開催し、西条市長へ提言文を手交しました。

また、新たな地域資源の発掘として、市内に残る建築遺産や庭園等を探求し、世界的な彫刻家のイサム・ノグチ氏が日本庭園を学んだ舞台になった庭（作庭家の鬼才、重森三玲氏が作庭）が西条市内に4庭残っており、それらの保存活動等を行っています。

【「まちがアート」いよ西条を楽しもう】

これまでに制作設置をしてきた石彫作品や、うちぬきを楽しめる親水空間をどなたでも自由に散策できるように手づくりの散策マップ、自転車で巡るサイクリングマップ等を作成し、市内の店舗、公共施設などに配布しています。サイクリングマップは最近の自転車ブームもあり大変好評だそうです。



【最後に】

「うちぬき P の活動は楽しい。イベントの際は是非お越し下さい。」と声を揃えるお二人。西条市らしい「水と芸術文化のまちづくり」を目指していくため、これからもテーマに沿った楽しいイベントを企画されているそうです。お二人の地域を想う熱い気持ちがうちぬき P の活動の原動力となって、より一層、地域の個性創出や賑わいに繋がることを確信しました。

[うちぬき21プロジェクト HP : <http://www.uchinuki21.jp/>]